

高知市議会だより

№210
平成30年
9月1日
高知市議会
(年4回発行)



高知みらい科学館
Kochi MIRAI Science Center



楽しく学ぼう！新図書館等複合施設オーテピア

主な内容

- 2頁 副議長を選出、人事議案
- 3頁 中小企業をもっと元気に！
「命の水」確保の行方は
可決した主な議案
- 4頁 教育効果が高まる学級編成は…
ヒトもハコも拡充を
休憩室
- 5頁 6月定例会を振り返って 会派の意見
- 6頁 政務活動費の執行状況
- 7頁 委員会の活動、意見書
- 8頁 議員名簿

⑥ 月定例会（第464回）を6月14日から27日までの14日間の会期で開催しました。

開会日には、市長が一般会計補正予算など18件の議案について提案理由説明を行いました。続いて、副議長の辞職に伴う選挙を行い、副議長に清水おさむ議員を選出しました。2日目には4つの常任委員会と議会運営委員会の委員を選任しました。

19日から22日までの個人質問には18人（うち12人が一問一答方式を選択）が立ち、新図書館西敷地利活用事業、教育行政、防災対策、健康福祉行政、農林水産行政などについて質問を行いました。

市長提出議案 デジタル固定系防災行政無線整備工事請負契約締結議案など、18件の議案を全て原案のとおり可決または承認しました。

最終日には、監査委員の選任議案および人権擁護委員推薦についての諮問議案の2件が追加提案され、いずれも同意または異議なき旨答申しました。

議員提出議案 日本年金機構の情報セキュリティ対策の見直しを求める意見書議案など9件の議案を提出し、うち6件を可決しました。

定例会2日目の15日に、総務、建設環境、厚生、経済文教の各常任委員会委員（8ページに名簿掲載）と議会運営委員会委員の選任を行いました。

円滑な議会運営のために議事の順序等を協議する議会運営委員会委員は次のとおりです。

（○委員長 ○副委員長）

◎山根 堂宏 ○平田 文彦
 迫 哲郎 深瀬 裕彦
 下本 文雄 岡崎 豊
 竹村 邦夫 福島 明

常任委員会委員・議会運営委員会委員決まる

副議長を選出



副議長
しみず
清水おさむ

6月定例会初日の14日に、平田文彦副議長が副議長を辞職したことに伴い、後任の副議長を決める選挙を行いました。

副議長に清水おさむ議員を新たに選出しました。

〔副議長選挙〕
 選挙結果は、次のとおりです。
 清水おさむ（新風クラブ） 22票
 浜口 卓也（新こうち未来） 12票



総務委員会



建設環境委員会



厚生委員会



経済文教委員会

広報委員会委員は再任

議会だよりの編集等の役割を担う広報委員会委員は次のとおりです。

◎浜口佳寿子 ○岡崎 邦子
 大久保尊司 浜口 卓也
 清水おさむ

人事議案

27日に、市長から監査委員の選任議案および人権擁護委員推薦についての諮問議案が提出され、それぞれ同意または異議なき旨答申しました。

監査委員
 田鍋 剛 吉永 哲也
人権擁護委員
 稲垣 健吾 岡林 俊司
 楠本美津子

6月定例会 審議日程

14日	開会 市長提出議案提案理由説明 副議長選挙	21日	岡崎 邦子（市民クラブ） 岡崎 豊（市民クラブ） 近森 正久（みどりの会） 下元 博司（日本共産党）
15日	常任・議会運営委員会委員の選任	22日	浜口佳寿子（日本共産党） 西森 美和（公明党） 下本 文雄（日本共産党） 岡田 泰司（日本共産党）
19日	個人質問	25日	常任委員会
20日	はた 愛（日本共産党） 川村 貞夫（新こうち未来） 浜口 卓也（新こうち未来） 山根 堂宏（公明党） 和田 勝美（新風クラブ）	27日	採決 人事議案提案理由説明 採決 閉会

中小企業をもっと元気に！

都市機能が集積し、県人口の約46%が集中する本市は、県内総生産額のうち49・3%を占めており、産業別に見ると、卸売・小売業や医療・福祉などを含む第3次産業の就業者が76%を超えています。また、従業者規模で見ると、従業者数20人未満の事業所が全体の90・5%を占めています。

今後、人口減少と高齢化が進む中で、産業活性化に向けた取り組みを展開することが不可欠であり、特に中小企業の振興は、雇用の確保や税源涵養の面からも重要となっております。

問 本市における中小企業振興策の経過と現状について聞く。

答 平成7年に制定した産業活性化条例により、産業団地の造成や分譲、企業誘致、各種助成金や融資制度の創設など、中小企業の振興と雇用の確保のための支援に取り組んでいる。

また、27年度に創業支援事業計画を策定し、創業支援セミナーの開催や創業希望者の事業計画策定の支援などを進めており、29年度末までに延べ約1200人から創業に関する相談などを受け、そのうち約190人が創業に至っている。

問 今後の取り組みについて聞く。

答 今年度は、融資限度額の範囲内であれば繰り返し利用で

きる利便性の高い新たな融資メニューを創設し、中小企業の事業規模の拡大につながるよう支援する。

また、高知県産業振興計画における産業成長戦略と地域アクションプランによる取り組みや、4月にスタートした「れんげいこうち広域都市圏」の振興策を通じて、中小企業の振興に取り組んでいく。



6月定例会 主な議案 で可決した

○放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正議案

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令の施行に伴い、規定の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。

○土地処分議案

高知市一宮字大坂4786番32ほか2筆の土地 50.103.57平方メートル以内（市持分2分の1）を高知中央産業団地として価格12億5,676万6,000円以上で処分しようとするもの。

○水難救助支援車購入契約締結議案

水難救助支援車1台について、高知消防システム株式会社との間に価格3,651万3,110円で購入契約を締結しようとするもの。

「命の水」 確保の行方は

上水道給水区域外の中山間地域においては、各地域共同または戸別で飲料水供給施設（以下「施設」という。）を設置・管

理して飲料水を確保しています。

本市はこれらの施設の修繕等に補助を行っています。平成27年度と29年度に実施した実態調査の結果を受け、29年度に、制度の見直しにより支援を拡充しました。

しかし、今年2月に上水道給水区域外で発生した断水を受けて行われた質疑では、施設の修繕等に係る補助および緊急時の給水についての課題が浮き彫りとなりました。

問 実態調査で明らかとなった課題と制度の見直しについて聞く。

答 高齢化により施設の維持管理が困難となっていることや、取水地までの管理道路整備および住宅戸数3戸未満の場所に設置されている施設の維持管理は補助対象外であり、地元負担が大きいために確認された。

こうした結果を受け、管理道路の整備費用を補助対象経費に加えるとともに、3戸未満の世帯が利用する施設についても柔軟に対応できるように補助制度の見直しを行った。

問 施設の緊急修繕等への補助財源は確保できているか。

答 毎年度、要望に基づき補助金を予算化しているが、緊急対応の補助金予算は確保できていない。29年度も、断水の発生地区を含めた3地区には予備費で補助を行っており、今後も予備費または補正予算により柔軟

に対応したいと考えている。

本市では、緊急に飲料水を必要とする場合、上水道給水区域か否かにかかわらず、上下水道局まで取水に来ることができるとは、給水制限等が発生している場合、給水区域外は臨時給水の対象外となっております。

問 災害時など緊急の際には給水車を利用するなど、給水区域外への対応が必要ではないか。

答 臨時給水において、直接上下水道局に来ることができない場合は、業者に依頼して取水に来てもらうことは可能である。しかし、災害時にはそうしたことも困難になるケースが想定されるため、今後、災害時の定義付けや給水方法、費用負担等の課題整理を行った上で幅広い観点から支援策を検討していく。



教育効果が高まる 学級編成は・・・

小学校の1学級の人数は、国の基準では、1年生は35人、2年生以上は40人ですが、県は、児童の学力向上と基本的な生活習慣の定着を目的とする少人数学級編成による実践的な調査研究を行うっており、希望する学校は申請により研究校の指定を受けることで、1・2年生は30人（3・4年生は35人）の少人数学級編成が可能となります。

問 市内3つの小学校（小高坂、一宮東、横浜新町）が、1・2年生のクラス編成を30人以下としていないが、教員不足が原因ではないのか。

答 県の少人数学級編成には一定の効果があるものの、3年生以降は1学級当たりの児童数は増え、5・6年生は国と同基準の40人学級になる。今回の3

学級担任と児童の信頼関係の構築や児童同士の仲間づくりなどにおいて、児童に大きな不安や負担を生じさせるものである。また、制度上、年度途中で少人数学級編成を行うことはできない。

少人数学級編成の目的を果たすためには、県が実施している段階的な学級編成よりも、義務教育の9年間を通じた少人数学級編成の方が望ましいと考えており、今後も県に対して対象学年を拡大するよう求めていく。



季節柄、各種団体の年度総会が花盛りの中、お招きいただいたある業種団体の総会では、廃業し退会となった会員のことが話題になりました。廃業の理由

は、営業不振でも従業員不足でも財務上の問題でもなく、今話題となっている後継者不在のこと。

関係者によると、業界全体の景気は「まあまあ（好調）」とのことですが、事業継続上の大問題は従業員確保と経営後継者、いわゆる「人材」に尽きるようです。同様の経営危機に直面している会員様もいらっしや

るようで、いち早く支援策を実施している県には敬服しますが、民間事業者の個別課題では済まされない状況になっていることを身に染みて感じた総会となりました。

さて、地方行政に何ができるのか？夏休みの宿題をいただいた梅雨の一夜となりました。（議会広報委員 清水おさむ）

ヒトもハコも拡充を ～放課後児童クラブ～

現在、本市では35校、88の放課後児童クラブが開設されていますが、放課後児童クラブ支援員の配置状況は、委託で運営している春野地区を除く83クラブの配置必要数166人に対して18人の欠員となっています。また、設置場所を原則学校施設内としていることによる施設の不足もあり、5月1日時点で11校、69人の待機児童が発生しています。

問 放課後児童クラブ支援員不足の解消に向けた取り組みを聞く。

答 欠員については臨時支援員で対応しているが、採用試験を年2回実施することで、欠員数は昨年同期の27人から18人に減少しており、今後もこうした取り組みを継続していく。

問 施設の増設についての現状と見通しを聞く。

答 今後5カ年の推計では、さらに8クラブが必要となっている中で、本年度は旭小学校、江ノ口小学校、横浜新町小学校でクラブを新設した。また、学校施設内での定員増が困難であったはりまや橋小学校では、学校近隣のテナントを借用するこ

とで、定員を25人増加させた。子どもたちの安全確保や公共施設マネジメントの考え方などから、クラブの開設は、これまで通り学校施設内での整備を原則としながらも、今後は緊急的な学校施設外への開設など、幅広い形態も含めて検討していく。

6月定例会で結果の出た 陳 情

【不採択】

- 高知市秦中央保育園移転に関する件
- 日本政府が核兵器禁止条約の批准作業を進めることを求める意見書提出の件
- 全国一律の最低賃金制度の確立と最低賃金の大幅引き上げによる地域活性化そしてそれを可能にする中小企業支援策拡充を求める意見書提出の件

6月定例会を振り返って

会派の意見

市民クラブ

西敷地！

市の姿勢まだまだ不透明

近藤強議員は西敷地について質問。中心市街地の活性化や観光振興策の充実に向けて西敷地を有効活用するべきであり、50年に及ぶ借地契約を慎重に審議することは当然と考えていた。

そうした中で、議会にも明らかにしていない事業内容を優先交渉権者が一方的に新聞発表したことは容認できず、猛省を促すとともに市長の見解をただした。

岡崎邦子議員は、セクハラ疑惑への政府の対応や、女性副市長誕生への認識を市長に問う。生活保護制度については、国民のセーフティネットの役割を果たしているか、ケースワーカーの人権は守られているかを問う。また、引きこもり支援の進捗状況や、秦中央保育園改築に関連して北部地域への認識を問うほ

か、中学校のエアコン整備を要望した。

岡崎豊議員は、西敷地の優先交渉権者の収支計画の中で、国の補助金約4億円が具体的に記載されている点を問題視。市長にたまたした上で、妥当性検討委員会における慎重な審議を求めた。また、産業界成に向けた中小企業振興基本条例の制定と、農業生産工程管理（GAP）による農業振興や流通から販売までのルート確立などを求めた。

日本共産党

西敷地選定への市長関与を指摘、事業の断念求める。発達障害中

学生に対する被害届提出を告発。個人質問に迫、はた、下元、浜口、下本、岡田の各議員が登壇。◎西敷地の利活用について、事業に加わる高知大と事前協議はしていないと答えた市長が、平成27年7月に学長と情報交換した事実を明るみにした。ニーズ調査で唯一計画ありと回答した団体名をただが、答弁を拒否。代表者が追手前小廃校を決定し、高知大経営協議会委員を務めた企業が優先交渉権者となるなど、いまだに妥当性が判断できない当事業の断念を求めた。◎発達障害でパニック状態の生徒が、指導中の教員にけがを負わせたとして出した被害届の取り下げを求めたが、当然と強弁。◎30人学級編成のための教員配置を求めた。◎思想・良心の自由を

求めた。◎思想・良心の自由を

新風クラブ

会派要望「街路整備事業の促進」に向けた補正予算が可決！

わが会派が国および県選出国会議員への要請活動を行っていった重点3街路整備事業について、このたび、国費の交付内示があり、6月定例会で大幅な補正予算を組むことができました。

◆吉永哲也議員の個人質問

長年、会派要望していた人事労務管理のシステム導入について質問。弘瀬総務部長は「新庁舎整備に合わせて導入予定の行政経営基幹業務システムによって、就労管理などにかかる年間事務処理時間が約77%削減できると見込まれる。この削減時間の人役換算で生まれる人員を多忙な部署へ再配置するなどの有効活用を検討すること説明した。

◆和田勝美議員の個人質問

県が進める集落活動センターについて、本市中山間地域および南部地域へのさらなる導入に向けた庁内体制の強化と、その財源に地域振興基金を充てるこ

とを求めた。岡崎市長は「これまでに北七ツ洲地区で開所し、現在、土佐山地区で検討が進んでいる。導入に当たったの課題については、副部長等で組織する地域課題検討会議で今後整理していく」と答えた。

公明党

市民の声を市政の真中に！

寺内憲資議員は、子どもたちの育ちの場である福井町の遊び山を管理されている古谷夫妻が、遊び山での活動を評価され、社会貢献支援財団から社会貢献者表彰を受けられたことを紹介した上で、古谷さんからの情報公開請求への上下水道局の職員対応について質問を行いました。

山根堂宏議員は、本年4月にスタートした「れんげいこうち

広域都市圏ビジョン」は、県内全市町村と県が連携した全国初の「高知モデル」であり、現在20件登録している連携事業を県内6ブロックで進める体制であるが、成果指標について岡崎市長に概要説明を求めました。

西森美和議員は、秦地域の道路整備の遅れを指摘し、特に秦中央保育園の移転先における慢性的な渋滞の解消は、市北部の交通問題として県と協議するよう要望しました。副市長からは、都市基盤整備・安全対策等が不可欠との認識が示され、新園舎の避難所指定についても協議するとの答弁がありました。

とを求めた。岡崎市長は「これまでに北七ツ洲地区で開所し、現在、土佐山地区で検討が進んでいる。導入に当たったの課題については、副部長等で組織する地域課題検討会議で今後整理していく」と答えた。

新こうち未来

氏原嗣志議員、川村貞夫議員、浜口卓也議員の3氏が登壇し、ともに西敷地の質疑を行った。

氏原議員は、春野地域における長年の懸案事項である小松の沼の残土投棄問題への毅然とした対応を求めた。市長からは、関係部局が連携を図り対応するとの答弁があり、一定の前進が期待されるが、いまだ油断ならない状況にある。川村議員は西敷地の利活用について、日曜市の活性化のため、火を使う店などをこの場所に集め、観光客などの利便性を高めること、よさこい鳴子踊りが世界的に広がっていることから、シンボリックゾーンとして整備することを提言した。浜口議員は特別支援教育の在り方について、年度当初に学校主体の支援会を開催することを求め、本来そのモデル校に位置づけられている高知特別支援学校の専門性をさらに向上させることを提言した。

みどりの会

近森正久市議

南部振興に市の全面支援を要求。競輪場の雇用確保をする提案を時間外手当5500万円カット。県庁前の駐車場を自走式へ提案。みどりを大事にする市に大転換。イタドリを市の産品として販売。日曜市の出店者増に向けて質問。図書館西敷地の選定過程に異議

平成29年度の政務活動費の執行状況をお知らせします

本市議会では、会派ごとに所属議員1人につき月額10万円の政務活動費を交付しており、平成29年度の執行状況は次のとおりです。なお、収支報告書および領収書の写しなどの関係書類は議会図書室で公開し、9月1日から、本市議会ホームページでも関係書類の写しを公開します。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。(☎ 823-9400)

政務活動費収支報告書

(単位：円)

項目	会派	市民クラブ (8人)	日本共産党 (7人)	新風クラブ (7人)	公明党 (6人)	新こうち未来 (5人)	みどりの会 (1人)	合計
収	交 付 額	9,600,000	8,400,000	8,400,000	7,200,000	6,000,000	1,200,000	40,800,000
	利 息	6	6	5	20	5	2	44
入	計	9,600,006	8,400,006	8,400,005	7,200,020	6,000,005	1,200,002	40,800,044
支	1 調 査 研 究 費	2,620,190	533,560	2,419,079	752,353	1,297,233	57,450	7,679,865
	2 研 修 費	793,964	2,056,930	528,288	951,021	333,356	0	4,663,559
	3 要 請・陳 情 活 動 費	0	0	0	510	0	0	510
	4 会 議 費	3,500	3,499	3,499	3,499	3,499	0	17,496
	5 資 料 作 成 費	0	0	0	6,000	0	0	6,000
	6 資 料 購 入 費	1,416,839	834,119	154,244	443,332	163,753	46,524	3,058,811
	7 広 報 広 聴 費	1,213,621	3,291,419	3,433,112	571,991	3,483,608	777,600	12,771,351
	8 人 件 費	0	0	0	0	0	0	0
	9 事 務 諸 費	1,009,163	695,030	1,384,809	1,587,132	661,459	77,430	5,415,023
	計	7,057,277	7,414,557	7,923,031	4,315,838	5,942,908	959,004	33,612,615
政務活動費返還額※		2,542,729	985,449	476,974	2,884,182	57,097	240,998	7,187,429

※政務活動費返還額は、返還金額を記載したものであり、収支差額ではない場合があります。

支出項目の内容

- 1 調査研究費 会派が行う市の事務および地方行財政等に関する調査研究（調査委託）に要する経費
- 2 研修費 会派が研究会（研修会）を開催するため必要な経費
会派に所属する議員等が他の団体の開催する研究会（研修会）に参加するために要する経費
- 3 要請・陳情活動費 政務活動として行う要請、陳情活動に要する経費
- 4 会議費 政務活動として行う会議に要する経費
会派に所属する議員等が他の団体の開催する各種会議に参加するために要する経費
- 5 資料作成費 政務活動のため必要な資料の作成に要する経費
- 6 資料購入費 政務活動のため必要な資料等の購入に要する経費
- 7 広報広聴費 政務活動、議会活動および市の政策について住民に報告・周知するために要する経費
会派が住民からの市政および会派の活動に対する要望、意見等を吸収するための会議ならびに会派が行う住民相談等の活動に要する経費
- 8 人件費 政務活動を補助する職員の雇用に要する経費
- 9 事務諸費 政務活動のため必要な消耗品の購入、事務機器の修理等に要する経費

本会議、委員会の日程をお知らせしています

市役所本庁舎の掲示板、高知市ホームページで本会議、委員会の開催日程をお知らせしています。

《高知市議会事務局の連絡先》

【電 話】 823-9400（直通）
 【F A X】 823-9350
 【メールアドレス】 kc-260100@city.kochi.lg.jp
 議会に対するご意見・ご要望をお寄せください。

9月10日（月）に予定されている、情報公開・市民相談センター、議会図書室でのご覧になります。また、高知市ホームページ上で、本会議・委員会の会議録をご覧いただけます。

● 会議録の閲覧

会派の構成と電話・F A X 番号

市民クラブ(8人) ☎823-9402 FAX 802-3055
 日本共産党(7人) ☎823-9404 FAX 823-9558
 新風クラブ(7人) ☎823-9401 FAX 871-2811
 公明党(6人) ☎823-9403 FAX 871-2485
 新こうち未来(5人) ☎823-9406 FAX 822-8119
 みどりの会(1人) ☎823-9476 FAX 823-9350
 ※みどりの会のF A X 番号は議会事務局直通です。

高 知 市 議 会 議 員 名 簿

議 長 **高木 妙** (就任 平成29年6月15日)
 副議長 **清水 おさむ** (就任 平成30年6月14日)

(平成30.6.15現在)

	氏 名	住 所	電 話		会 派
			自 宅	連絡先	
議 長	高 木 妙	高埴21番13号	880-3066		公 明 党

	氏 名	住 所	電 話		会 派	
			自 宅	連絡先		
常任委員会	委員長	浜 口 佳寿子	高見町382番地 2	831-6109	824-4123	日 本 共 産 党
	副委員長	伊 藤 弘 幸	大津乙334番地 6	866-5443		公 明 党
	委 員	岡 崎 邦 子	加賀野井 2丁目 6番 3号	823-4552		市 民 ク ラ ブ
	〃	氏 原 嗣 志	春野町弘岡中2236番地	894-2737		新 こ う ち 未 来
	〃	浜 田 拓	横浜新町 4丁目 1023番地	842-0033	871-1580	市 民 ク ラ ブ
	〃	下 元 博 司	横浜西町31番 1号	842-7619	824-4123	日 本 共 産 党
	〃	吉 永 哲 也	塚ノ原111番地 8	843-1161		新 風 ク ラ ブ
	〃	平 田 文 彦	種崎676番地 3	847-0012		新 風 ク ラ ブ
総務委員会	〃	山 根 堂 宏	神田1732番地18	832-6015		公 明 党
	委員長	和 田 勝 美	土佐山梶谷632番地	895-2517		新 風 ク ラ ブ
	副委員長	長 尾 和 明	十津 4丁目 16番 5号	847-4263		市 民 ク ラ ブ
	委 員	迫 哲 郎	玉水町 6番地 サーパス通町 2番館606	872-5571	090-7789-9798	日 本 共 産 党
	〃	田 鍋 剛	介良乙3257番地16	860-4060		市 民 ク ラ ブ
	〃	下 本 文 雄	塚ノ原108番地65	840-2191		日 本 共 産 党
	〃	大久保 尊 司	横内152番地23	843-5672		公 明 党
	〃	竹 村 邦 夫	朝倉丁694番地 1	844-3023	090-8970-3092	新 風 ク ラ ブ
建設環境委員会	〃	戸 田 二 郎	南久万72番地 4	875-3619	823-5050	新 こ う ち 未 来
	委員長	深 瀬 裕 彦	春野町森山312番地	894-3022		市 民 ク ラ ブ
	副委員長	は た 愛	中久万294番地18 ウィルモアN102号	090-1172-1599	824-4123	日 本 共 産 党
	委 員	細 木 良	介良乙3668番地11	879-1836	090-8972-1478	日 本 共 産 党
	〃	竹 内 千 賀 子	潮見台 3丁目 804番地	860-6678	828-4800	市 民 ク ラ ブ
	〃	清 水 お さ む	北本町 4丁目 4番14-306号 アルファステイツ北本町式番館	090-5273-4949		新 風 ク ラ ブ
	〃	西 森 美 和	宇津野10番地 5	825-4012		公 明 党
	〃	福 島 明	上町 1丁目 10番48号 サンハイツ上町405	856-7856		新 こ う ち 未 来
厚生委員会	〃	水 口 晴 雄	中水道 5番34号	873-1812		新 風 ク ラ ブ
	委員長	浜 口 卓 也	廿代町17番20号 S T廿代町 3階	872-2685		新 こ う ち 未 来
	副委員長	岡 田 泰 司	薊野西町 3丁目 5番20号	845-5428	824-4123	日 本 共 産 党
	委 員	近 森 正 久	永国寺町 1番 8号	822-1093	090-7780-7131	み ど り の 会
	〃	岡 崎 豊	朝倉己207番地13	840-7763	882-6411	市 民 ク ラ ブ
	〃	近 藤 強	新本町 2丁目 17番16号	824-5501		市 民 ク ラ ブ
	〃	寺 内 憲 資	竹島町84番地 8	832-8002	090-4902-0347	公 明 党
	〃	川 村 貞 夫	鏡吉原1109番地	896-2451	090-1003-2473	新 こ う ち 未 来
経済文教委員会	〃	中 澤 は ま 子	鴨部 2丁目 2番39-406号 サーパス鴨部	840-9822		新 風 ク ラ ブ